

実践テーマ「国民の手によって、国民のための政治が進められていること」を捉える学習 ～子ども医療費助成制度を取り上げて～

問いの構成

1時: 子ども医療証で約10万人の医療費が無料になることについて疑問を出し合い、学習問題をつくろう。

世田谷区の子ども医療証の制度は誰がどのように作り、どのような仕組みで成り立っているのだろう

3時: 子ども医療費助成制度はどのように始まり、現在進められているのだろうか。

4時: 40億円の費用はどのようにして確保されているのか。

5時: 区議会議員が必ず関わっているのはなぜだろうか。

子ども医療費助成制度(国民生活の安定と向上を図るための政治の働き)は、区長(行政)・議員(議会)・区民(国民)の相互関係によって成り立っている

8時: 区民のための制度なのに、負担を増すような案はよいのだろうか。

国民による国民のための政治

子ども医療費助成制度は、区長と区議会議員が一丸となって区民を幸せにしたいという思いで作り、区民同士が支え合うという仕組みで成り立っている。

選挙で選ばれた区長が区民の期待に応えるため

区民が税金で、区民同士で支えあっている。

区民の代表として区民の意見を反映

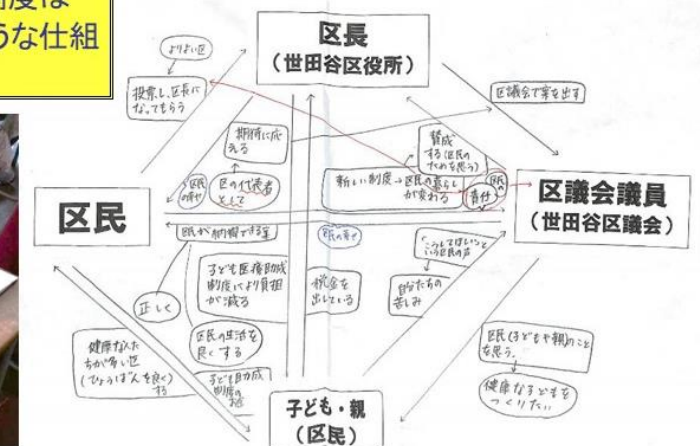
選挙で区民に選ばれた区長の役割

制度への区民の関わり方

選挙で区民に選ばれた議員の役割

子ども医療費助成制度

世田谷区の子ども医療証の制度は誰がどのように作り、どのような仕組みで成り立っているのだろう



子ども医療費助成制度は、区長と区議会議員が一丸となって区民を幸せにしたいという思いで作り、区民同士が支え合うという仕組みで成り立っている。区長と議員両方がいないとよりよい案を出すことはできないし、助成制度は、税金で賄われているから

子ども医療費

世田谷、無料見直しへ
財政圧迫

国民による国民のための政治

私はこの学習で、立場がちがったら、まったく違う意見になることに気づきました。私は、「悪い」方を選んだけれど、よいと思った人の意見は区全体を考えていると思いました。区長は最後に子供や親のことを考えたのだと思います。

病院に行けず、区民の間で差ができてしまうのではないか。

子ども医療費以外のことも区や取り組まなければならない。

家計が厳しい家庭は？

保育園を増やすためには。

区民のための制度なのに、負担を増すような案はよいのだろうか。